



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月7日
東

上場会社名 株式会社サンエー 上場取引所
 コード番号 2659 URL <https://www.san-a.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 沢
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画部長 (氏名) 玉寄 雅人 TEL 098(898)2230
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	63,769	8.0	4,644	13.2	4,891	12.8	3,057	4.6
2026年2月期第1四半期	59,057	2.4	4,101	△0.8	4,337	0.9	2,922	5.5

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 3,322百万円(5.7%) 2026年2月期第1四半期 3,143百万円(6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	49.59	—
2026年2月期第1四半期	47.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	196,008	153,105	76.1
2026年2月期	217,274	160,958	72.0

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 149,124百万円 2026年2月期 156,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	125.00	125.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	0.00	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	129,789	6.2	9,026	3.7	9,353	2.7	5,887	0.2	95.20
通期	257,270	4.8	17,527	2.7	17,975	1.2	11,025	3.3	178.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年2月期1Q	63,963,308株	2026年2月期	63,963,308株
2027年2月期1Q	2,912,409株	2026年2月期	2,115,709株
2027年2月期1Q	61,648,424株	2026年2月期1Q	61,837,452株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第1四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年3月1日～2026年5月31日)におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、政府による各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続いております。その一方で、継続する原材料費の上昇、海外経済の不確実性や為替の変動の影響等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

沖縄県の小売業界におきましては、入域観光客数が前年同期を上回って推移しており、観光産業を中心に経済活動が活発化する等、地域経済の拡大に寄与しております。一方で、継続的なインフレ下での仕入価格の高騰や、人手不足、各種コストの増加、業態の垣根を越えた競争の激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社の経営方針を「あるべき姿」とし、人財力や仕組力、商品力、店舗力の向上に取り組むとともに、引き続き企業理念の浸透、七大基本(クリンリネス、鮮度と品質、品揃え、価格、陳列技術、サービス、正しい表示)の徹底、既存店の活性化、効率化を図る等、お客さま満足度の向上に努めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益(売上高及び営業収入)637億69百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益46億44百万円(同13.2%増)、経常利益48億91百万円(同12.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益30億57百万円(同4.6%増)となりました。

【人財力の向上】

正社員、パートナー社員(パート)、アルバイト社員に対する社員研修を積極的に実施し、企業理念の浸透や七大基本の徹底、事業部研修(県外や海外のメーカーや産地・工場の視察研修等)や新任店長研修を積極的に実施いたしました。理念教育と実務研修の両輪により、永続性ある企業経営に向けた人財育成に取り組んでおります。

【仕組力の向上】

食品館においてフルセルフレジや電子棚札、外食レストランにおいてタブレットオーダーシステム・配膳ロボット等の効率機器を積極的に導入し、接客対応時間の増加や働き方改善に繋がるよう取り組んでおります。当期(2027年2月期)につきましては、5月に「Amazon」との協業により、Amazon.co.jpのアカウントをお持ちのお客さま向けサービスとして、WEBサイト上(Amazon.co.jp)にサンエーネットスーパーをオープンし、オンライン販売事業を拡大する等、お客さまの利便性向上を目指し取り組んでおります。

【商品力、店舗力の向上】

食料品につきましては、他社の差別化として、「くらしモア」、「ローソンオリジナル」や「成城石井」の商品等の販売を強化しております。また、食品スーパーにおいて試食販売を強化しており、商品価値を伝えることで売上点数アップにつながるよう取り組んでおります。衣料品につきましては、沖縄独自の文化である「かりゆしウェア」の品揃え強化に取り組んでおります。

既存店につきましては、4月に「V21食品館 牧港店」(沖縄県浦添市)、「西原シティ」(沖縄県宜野湾市)、5月に「豊見城ウィングシティ」(沖縄県豊見城市)をリニューアルいたしました。今後も既存店の活性化に積極的に取り組んでまいります。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

【小売事業】

小売におきましては、昨年と比較して気温が高く推移したことにより、季節商材を中心に既存店売上が堅調に推移したほか、5月には台風6号の接近により食料品を中心に売上が伸長いたしました。また、国内・海外からの観光客の増加に伴い、観光土産商材の売上や免税売上も伸長し、営業収益は613億72百万円(前年同期比8.0%増)、セグメント利益は40億60百万円(同12.9%増)となりました。

【コンビニエンスストア事業】(以下「CVS」という。)

CVSは、FC店舗を2店舗閉店、1店舗を新規開店及び既存店が好調に推移し、営業収益は23億99百万円(前年同期比7.0%増)、セグメント利益は5億84百万円(同15.5%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して212億66百万円減少し、1,960億8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が256億40百万円減少したことや、売掛金が28億94百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して134億13百万円減少し、429億3百万円となりました。主な要因は、買掛金が71億71百万円、流動負債その他が64億72百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して78億52百万円減少し、1,531億5百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益が30億57百万円となり、配当金の支払が77億30百万円、自己株式の取得が26億10百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想につきましては、2026年4月7日に開示しました「2026年2月期 決算短信」で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,534	53,893
売掛金	8,023	10,917
商品及び製品	15,653	15,781
原材料及び貯蔵品	456	488
その他	3,246	3,949
流動資産合計	106,914	85,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,403	51,515
土地	35,835	35,975
建設仮勘定	3,316	4,296
その他(純額)	5,031	5,236
有形固定資産合計	96,587	97,024
無形固定資産	751	804
投資その他の資産	13,021	13,149
固定資産合計	110,360	110,978
資産合計	217,274	196,008
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,877	13,706
未払法人税等	2,959	1,897
賞与引当金	1,654	2,871
その他	23,007	16,535
流動負債合計	48,499	35,011
固定負債		
退職給付に係る負債	2,918	2,920
資産除去債務	1,169	1,175
その他	3,729	3,795
固定負債合計	7,817	7,891
負債合計	56,316	42,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,730	3,730
利益剰余金	152,956	148,282
自己株式	△4,202	△6,813
株主資本合計	156,207	148,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303	293
退職給付に係る調整累計額	△96	△91
その他の包括利益累計額合計	206	201
非支配株主持分	4,543	3,980
純資産合計	160,958	153,105
負債純資産合計	217,274	196,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	54,275	58,542
売上原価	37,111	39,954
売上総利益	17,163	18,588
営業収入	4,781	5,226
営業総利益	21,945	23,814
販売費及び一般管理費	17,844	19,170
営業利益	4,101	4,644
営業外収益		
受取利息	24	47
受取配当金	74	76
債務勘定整理益	65	52
その他	83	91
営業外収益合計	246	266
営業外費用		
支払利息	6	6
その他	4	13
営業外費用合計	10	19
経常利益	4,337	4,891
特別損失		
固定資産除却損	25	76
特別損失合計	25	76
税金等調整前四半期純利益	4,312	4,814
法人税、住民税及び事業税	1,576	1,777
法人税等調整額	△403	△289
法人税等合計	1,173	1,488
四半期純利益	3,139	3,326
非支配株主に帰属する四半期純利益	217	269
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,922	3,057

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	3,139	3,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△10
退職給付に係る調整額	△11	5
その他の包括利益合計	4	△4
四半期包括利益	3,143	3,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,926	3,052
非支配株主に係る四半期包括利益	217	269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年4月7日開催の取締役決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において26億10百万円(796,700株)の自己株式を取得しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	小売	CVS	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	54,889	2,242	57,131	—	57,131
その他の収益	1,926	—	1,926	—	1,926
外部顧客への売上高	56,815	2,242	59,057	—	59,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	6	△6	—
計	56,822	2,242	59,064	△6	59,057
セグメント利益	3,595	505	4,101	0	4,101

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	小売	CVS	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	59,289	2,399	61,688	—	61,688
その他の収益	2,080	—	2,080	—	2,080
外部顧客への売上高	61,369	2,399	63,769	—	63,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	△2	—
計	61,372	2,399	63,771	△2	63,769
セグメント利益	4,060	584	4,644	—	4,644

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	1,498百万円	1,766百万円